

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 学校教育を充実し、次世代を育てる	社会情勢も大きく変化し、小学校においては複式学級が複数発生する状況になってきたこと、中学校においては単学級が続いている学校があること、クラス替えが出来ない1学年1学級の学校が多くなってきたこと等の理由から、令和3年4月に「常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会」を設置し、令和3年5月に市からの諮問をうけ、児童生徒のより良い教育環境の確保のための実施計画の策定の協議を開始し、児童・生徒の社会性の育成及び互いに切磋琢磨する場として一定規模の児童生徒数を確保するとともに、学校施設の更新計画などとの整合性を図りながら子どもたちのより良い教育環境の確保に向けた具体的な方針を示すために令和4年5月に「常総市立小中学校適正配置実施計画」を策定し、本計画に基づき小中学校の適正配置を進めています。	「常総市立小中学校適正配置実施計画」に基づき、市立小中学校の適正配置を進めます。 具体的には、統廃合によりクラス替えができる一定規模の児童生徒数を確保するなど、子どもたちがより良い教育環境で学校生活をおくれるようにするため、段階的に小中学校の適正配置（統廃合）に取り組んでいます。この取り組みを進めるにあたっては、保護者及び地域住民の方々から十分に理解と協力が得られるよう、丁寧に意見交換を行いながら、進めています。
	施策	1 学校教育		
	施策内容	小中学校の適正配置の推進		
	その他、抛法令及び分野別計画等	常総市立小中学校適正配置実施計画		
事務事業名	市立小中学校の適正配置の推進			

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会の開催 (R8・R9・R10)	常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会	開催回数（回）	2	2	255 千円	千円
②	大生小学校・五箇小学校の統合 (R8)	大生小学校・五箇小学校統合準備委員会	開催回数（回）	10	0	0 千円	千円
③	大生小学校・五箇小学校の統合 (R8)	説明会・ワークショップ	開催回数（回）	2	3	0 千円	千円
④	大生小学校・五箇小学校の統合 (R8)	五箇小学校閉校記念式典及び記念品	開催回数（回）	1	0	500 千円	千円
⑤	玉小学校・石下小学校・豊田小学校の統合 (R8・R9・R10)	意見交換会・説明会	授業単位（単位）	3	3	0 千円	千円
⑥						0 千円	千円
⑦						0 千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①②③④	学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合 （小学校）	総合計画に掲げる成果指標であるとともに、個人の多様性が認められ、良好な人間関係が築けている状態として、大多数を占める9割で設定することで、学校環境における課題発見、改善につなげる姿勢を示す。	82. 3%	90%		令和 13 年度
						100%
①②③④	学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合 （中学校）		86. 6%	90%		令和 13 年度
						100%

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト	
	☐ 活動	
	☐ 成果	
	☐ その他	